



不法投棄を許さない！

道路クリーン作戦

5月10日、津別町および津別町環境衛生推進協議会主催による「道路クリーン作戦」が、ごみゼロ運動の日（5月30日）に先駆けて実施されました。

35名の町民が参加し、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などのごみを回収しました。



待望のリニューアルオープン

つべつ木材工芸館キノスリニューアルオープン

5月11日、天井の一部落下により令和6年5月29日から臨時休館していた「つべつ木材工芸館キノス」が、工事の完了に伴い再オープンしました。

当日は、再開を待ちわびた家族連れなどでにぎわい、館内には笑顔があふれました。



米農家の事業継承を目指して

地域おこし協力隊 安部隊員を卒業

4月18日、安部勇人さんが、地域おこし協力隊を卒業しました。

卒業後は、活動先であった町内唯一の米農家である「今井農場」の事業継承に向け、引き続き取り組んでいきます。



相生で飲食店を継承

地域おこし協力隊 増田隊員卒業

4月14日、増田啓一郎さんが、地域おこし協力隊を卒業しました。

卒業後は、相生にある旧国鉄の駅舎を活用したカフェ「ホロカ」を継承し、現在、飲食店の経営を始めています。



未来への希望を苗木に託す

恩根の町有林で町民植樹祭を開催

5月18日、町民植樹祭が恩根の町有林で開催されました。約60人の町民が参加し、豊かな自然環境づくりに向けてカラマツ400本を植樹。最後に記念看板を設置し、未来への財産である苗木の健やかな成長を願いました。



上空からふるさとを眺めて

津別町ふるさと教育チャーター事業

5月10日、津別町ふるさと教育チャーター事業として、津別中学校2年生が飛行体験と職場体験を行いました。自分たちの町を上空から眺め、地域の魅力を再発見することを目的としたもので、女満別空港を出発し津別町上空を巡るルートを体験。あわせて空港内での職場体験も実施されました。



▲美幌ロータリークラブ 藪下さん（右）
近野教育長（左）

生理用品を寄贈

母子の健康増進委員会が生理用品を寄贈

4月25日、国際ロータリークラブ第2500地区（北海道東部）母子の健康増進委員会から、教育委員会へ生理用品が寄贈されました。

寄贈された生理用品（昼用5,760枚、夜用1,620枚）は学校等の教育施設に配置されます。



◀中学校グラウンド（上）、小学校グラウンド（下）

地域貢献のボランティア

小学校と中学校のグラウンド整備を実施

4月24日と5月9日、運動会シーズンに合わせて、崎道路（株）美幌営業所が中学校、（株）NIPPO 北網出張所と（株）円輪建設が小学校のグラウンド整備を行いました。いずれも例年実施されているボランティア活動で、各社は地域の子どものために、継続して地域貢献に取り組んでいます。